



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場会社名 東洋ゴム工業株式会社  
コード番号 5105 URL <http://www.toyo-rubber.co.jp/>

上場取引所 東大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中倉 健二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 久世 哲也

TEL 06-6441-8801

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	147,849	3.1	5,678	38.9	3,443	58.1	1,269	31.3
23年3月期第2四半期	143,431	10.7	4,087	—	2,178	—	966	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 1,638百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △3,177百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	5.00	—
23年3月期第2四半期	3.80	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	329,296	80,457	23.6
23年3月期	305,290	79,607	25.4

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 77,706百万円 23年3月期 77,534百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	319,000	8.5	9,100	△25.3	5,800	△36.9	2,100	303.1	8.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) 東洋輪胎(諸城)有限公司、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料P.4「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.4「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	254,358,146 株	23年3月期	254,358,146 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	313,571 株	23年3月期	307,234 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	254,046,983 株	23年3月期2Q	254,058,622 株
----------	---------------	----------	---------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因により、これらの見通しとは異なることがありますことをご承知おきください。業績予想の背景及び前提となる条件等については、添付資料P.3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2.	サマリー情報（その他）に関する事項	4
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3.	四半期連結財務諸表	5
	(1) 四半期連結貸借対照表	5
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
	(3) 継続企業の前提に関する注記	9
	(4) セグメント情報	9
	(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

## ① 当期の経営成績

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、新興国を中心に一部の地域では景気回復基調を維持しているものの、欧米では原油価格の高止まりや欧州債務問題、雇用の低迷と個人消費の停滞などにより、景気の先行きは不透明な状況が続いております。日本においても、東日本大震災（以下、震災）による落ち込みから着実に回復しつつあるものの、急激に円高が進行するなど依然として厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは震災で被災した3工場の全面復旧を5月までに完了させると共に、平成23年度からの5ヶ年計画「中期経営計画'11」の初年度として、成長市場へのスピーディーな事業拡大、最適供給体制の構築、高付加価値商品の拡販、環境配慮技術の具現化、更なる生産合理化の推進などに取り組みました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,478億49百万円（前年同期比44億17百万円増、3.1%増）、営業利益は56億78百万円（前年同期比15億91百万円増、38.9%増）、経常利益は34億43百万円（前年同期比12億65百万円増、58.1%増）、四半期純利益は12億69百万円（前年同期比3億2百万円増、31.3%増）となりました。

事業別の状況は次のとおりであります。

## ② 事業別の状況

## 〔タイヤ事業〕

タイヤ事業の売上高は1,116億42百万円（前年同期比75億57百万円増、7.3%増）となり、営業利益は48億6百万円（前年同期比22億99百万円増、91.7%増）となりました。

## (国内新車用タイヤ)

震災の影響により国内自動車生産台数が減少したため、販売量・売上高とも前年同期を下回りました。

## (国内市販用タイヤ)

乗用車用タイヤについては、震災による生産本数の減少が影響し、販売量は前年同期を下回りました。しかし、トラック・バス用タイヤの値上げ前の駆け込み需要と震災の復興需要により販売が拡大したため、売上高は前年同期並みとなりました。

## (海外市販用タイヤ)

北米市場においては、高付加価値商品の販売が好調に推移したことや値上げを実施したことにより、販売量・売上高とも前年同期を上回りました。一方、欧州市場においては、震災による生産本数の減少が影響し、販売量・売上高とも前年同期を下回りました。また、アジア市場においては、昨年マレーシアのSilverstone Berhadを買収したことにより、販売量・売上高とも前年同期を上回りました。その結果、海外市場全体では販売量・売上高とも前年同期を上回りました。

## 〔ダイバーテック事業〕

ダイバーテック事業の売上高は361億95百万円（前年同期比30億66百万円減、7.8%減）となり、営業利益は5億79百万円（前年同期比9億52百万円減、62.2%減）となりました。

## (輸送機器分野)

自動車用防振ゴム及び自動車用シートクッションについては、震災の影響による自動車メーカーの減産が影響し、売上高は前年同期を下回りました。鉄道車両用空気バネ及び鉄道車両用防振ゴムについては、国内補修市場での販売は低調でしたが、新型車両への販売が好調だったこともあり、売上高は前年同期並みとなりました。

## (断熱・防水資材分野)

断熱資材分野については、震災の復興需要として仮設住宅や冷蔵庫向けの硬質ウレタン原液の販売が急増したため、売上高は前年同期を上回りました。一方、防水資材分野については、震災により関東圏・関西圏の市場が縮小したことや第1四半期に原材料の調達が不安定になるなどの影響があったため、売上高は前年同期を下回りました。

## (産業・建築資材分野)

産業資材分野については、業界の景気回復基調に伴い標準防振ゴム・道路資材用ウレタン商品の販売が好調に推移したため、売上高は前年同期を上回りました。建築資材分野については、建築免震ゴムの引き合いが震災後急増したことに加え、積極的な営業活動を展開した結果、売上高は前年同期を上回りました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は3,292億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ240億6百万円増加しました。これは、主として、製品等の棚卸資産や売上債権が増加したことに加え、成長市場への投資等に伴って有形及び無形固定資産等が増加したことによります。

また、負債は2,488億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ231億55百万円増加しました。これは、主として、借入金等が増加したことによります。なお、有利子負債は1,392億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ210億85百万円増加しました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は804億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億50百万円増加しました。これは、主として、少数株主持分等が増加したことによります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて1.8%減少し、23.6%となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期業績予想につきましては、一時的に1ドル75円台を記録するなど、足元の急激な円高の影響や、下期における北米景気の低迷等、厳しい経営環境下にあります。上期において想定よりも損益が良化したことに加え、下期においても原材料を含むコスト合理化、販管費削減等の施策を実施することにより、営業利益、経常利益、当期純利益については、前回(平成23年5月10日)発表時の予想を上回る見込みとなりました。

詳細につきましては、本日公表しました「平成24年3月期 第2四半期累計期間の連結業績予想値と決算値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、新たに出資持分を取得した東洋輪胎（諸城）有限公司を連結の範囲に含めております。なお、同社は当社の特定子会社となっております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

一部の連結子会社を除き、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,074	25,789
受取手形及び売掛金	54,431	62,960
商品及び製品	28,788	38,330
仕掛品	2,633	2,991
原材料及び貯蔵品	9,989	11,240
その他	11,549	10,936
貸倒引当金	△312	△245
流動資産合計	135,154	152,003
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	38,796	39,343
機械装置及び運搬具(純額)	48,748	53,242
その他(純額)	36,194	37,609
有形固定資産合計	123,740	130,195
無形固定資産		
のれん	4,508	2,920
その他	2,065	5,264
無形固定資産合計	6,574	8,185
投資その他の資産		
投資有価証券	32,032	31,533
その他	8,294	7,886
貸倒引当金	△505	△508
投資その他の資産合計	39,821	38,911
固定資産合計	170,135	177,292
資産合計	305,290	329,296

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	59,577	60,570
短期借入金	33,118	44,778
1年内償還予定の社債	10,000	5,000
未払法人税等	916	1,552
未払金	12,553	12,484
製品補償引当金	224	—
災害損失引当金	973	205
その他	12,773	13,647
流動負債合計	130,137	138,239
固定負債		
社債	18,000	23,000
長期借入金	55,992	65,400
退職給付引当金	13,243	12,997
その他の引当金	171	174
その他	8,137	9,026
固定負債合計	95,545	110,598
負債合計	225,683	248,838
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,484	30,484
資本剰余金	28,507	28,507
利益剰余金	21,007	21,006
自己株式	△104	△105
株主資本合計	79,894	79,892
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,785	6,557
繰延ヘッジ損益	△170	34
為替換算調整勘定	△8,974	△8,777
その他の包括利益累計額合計	△2,359	△2,185
少数株主持分	2,072	2,751
純資産合計	79,607	80,457
負債純資産合計	305,290	329,296

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	143,431	147,849
売上原価	104,923	108,285
売上総利益	38,508	39,563
販売費及び一般管理費	34,420	33,885
営業利益	4,087	5,678
営業外収益		
受取利息	53	92
受取配当金	329	350
持分法による投資利益	129	76
受取補償金	—	200
その他	315	473
営業外収益合計	828	1,194
営業外費用		
支払利息	1,093	1,250
為替差損	635	1,293
その他	1,008	885
営業外費用合計	2,737	3,429
経常利益	2,178	3,443
特別利益		
受取保険金	—	1,007
特別利益合計	—	1,007
特別損失		
固定資産除却損	246	169
災害による損失	—	1,113
特別損失合計	246	1,283
税金等調整前四半期純利益	1,931	3,168
法人税等	860	1,802
少数株主損益調整前四半期純利益	1,071	1,365
少数株主利益	105	96
四半期純利益	966	1,269

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,071	1,365
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,596	△228
繰延ヘッジ損益	89	205
為替換算調整勘定	△1,703	282
持分法適用会社に対する持分相当額	△38	12
その他の包括利益合計	△4,249	272
四半期包括利益	△3,177	1,638
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,093	1,443
少数株主に係る四半期包括利益	△83	194

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額
	タイヤ事業	ダイバーテ ック事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	104,074	39,195	143,269	162	143,431	—	143,431
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	10	67	78	108	186	△186	—
計	104,084	39,262	143,347	271	143,618	△186	143,431
セグメント利益 (営業利益)	2,506	1,531	4,038	93	4,131	△44	4,087

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額
	タイヤ事業	ダイバーテ ック事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	111,622	36,187	147,809	39	147,849	—	147,849
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	20	8	28	101	130	△130	—
計	111,642	36,195	147,838	141	147,980	△130	147,849
セグメント利益 (営業利益)	4,806	579	5,385	62	5,448	229	5,678

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内関係会社に対する融資及び債権の買取、不動産業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は前第2四半期連結累計期間△44百万円、当第2四半期連結累計期間229百万円であり、セグメント間取引消去等が含まれております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。